

平成25年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

① 設名	大阪市立クラフトパーク
② 指定管理者名	一般財団法人大阪市教育振興公社・イオンディライト株式会社共同事業体
③ 評価対象期間	平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日
④ 指定期間	平成22年4月1日 ～ 平成26年3月31日
⑤ 所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当（電話：06-6208-9151）

管理運営業務等の概要

① 業務概要	クラフト（手作り工芸）の総合施設である「クラフトパーク」における施設の維持管理と、陶芸等の工房を活用した創作教室・体験教室等の事業や、クラフト関連の情報提供等の各種事業の運営。
② 利用状況の概要	施設利用者数58,779人（別途その他入館者23,145人有）

◎管理運営の実施状況

1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

① 施設の管理運営状況（管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況）	設備維持管理の状況、職員の体制、危機管理・安全管理など、施設の管理運営状況は仕様のレベルを十分に満たしている。
② 事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域団体や地域商店街などが実施する「古代市」への参加、企業とタイアップしたデリバリー事業の実施。老人福祉センターや船場博覧会、学習センターや近隣集合住宅、大阪駅前再開発エリア内の複合施設への出前体験講座等、さまざまな団体・企業と連携した企画を実施した。 ・ インターネットによる受講申込者数は、平成22年度に開始以降、年々増加しつつある。 ・ 大阪市ホームページや民間ウェブへのイベントの掲載、地下鉄駅構内や中吊り広告、各生涯学習ルームへのポスター・チラシの配布。
③ 施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「クラフトパークフェスタ2013」を実施するにあたり、運営に協力するサポーターを受講生から募集し、143名がクラフトパークで学んだ工芸の技法をフィードバックする機会を提供した。 ・ 平野区に婚姻届・出生届を行った区民へのお祝いの記念品の制作業務の公募型企画提案コンペに応募し、制作業務委託者として選定されることにより、工芸の普及と施設のPRを行った。 ・ 「大阪欄間」「大阪唐木指物」「大阪泉州桐箆笥」「大阪仏壇」と小学校区における生涯学習ルーム事業と連携した事業の実施や生涯学習推進員との協働など、教育コミュニティ支援の観点から地域との連携を進めている。

2 市費の縮減効果（収支状況）

① 収入・支出状況	収入 242,932,007円 (利用料金137,500,900円、自主事業収入30,454,250円、管理代行料74,976,857円) 支出 242,932,007円
② 市費縮減に係る取組み状況	平成22年度から、事業収入を指定管理者の収入とし、事業費用をその収入で賄う利用料金制で賄う利用料金制を採用することにより、市費投入額の縮減を図っている。平成25年度は現在の指定管理期間における計画的な管理代行料削減計画に沿って、市費歳出の縮減を図った。 <平成22年度> (利用料金制) 管理代行料 78,540千円 <平成23年度> (利用料金制) 管理代行料 78,234千円 <平成24年度> (利用料金制) 管理代行料 76,397千円 <平成25年度> (利用料金制) 管理代行料 74,977千円

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取組み等の実施状況	・個人情報保護規程を策定し、適切に取り扱っている。
--	---------------------------

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

① 評価項目概要	なし
② 上記についての成果や望まれる対応等	なし

◎評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

① 施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	新たな企画や受講申込方法の改善、広報活動の拡充等に努めた結果、昨年度に比べて施設全体の利用者は約1,900人増加した。 また、平成26年3月に実施した受講者アンケートにおいて、授業の内容については93%、職員や指導員の対応については95%の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価しうる。	A
② 市費の縮減効果に対する評価	平成22年度から、事業収入をすべて指定管理者の収入とし、事業費用をその収入で賄う「利用料金制」を導入することにより、大幅な管理経費の縮減が図られている。 指定管理者制度を導入する以前の平成17年度と25年度の市費投入額を比べると、199,678千円から74,977千円と、124,701千円の削減となっている。 また、平成25年度は指定管理期間内の計画的な削減により、平成24年度からさらに1,420千円削減している。	B
③ 社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④ 総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。	B

2 外部専門家等の意見

<p>I 全般的なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、管理代行料の減額に対し努力してきている。経費を削るところはもう他にない。定員枠を広げることを検討されたい。 ・来館者は増加しているが、施設利用者は減っている。本来は施設利用者の増加が大事である。 ・利用者の満足度は高いが、定員漏れも多いと聞く、これから利用しようとする人のニーズに応えるため定員枠を増やすべき。待合スペースなどを活用してはどうか。 ・科目の人気には波がある。陶芸は人気が少し下降気味なうえ、民間などでの受講機会が多くなっている。 ・今年から男の受講者が増えてきた。団塊の世代で退職後の目的さがしという人たちが来ている。 ・夜間に来ている人は、昼間と年代が違い、若い層である。夜間講座がなくなり、若年層が受講できなくなった。 ・平成25年度から実施しているサポーター制は面白い。 ・地域振興のために建てられた施設なので、平野区のバックアップが望まれる。 <p>II 教室・講座設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者のニーズにあった教室設定を。人気のある織物も曜日や時間帯の設定に工夫が欲しい。 ・大阪の伝統工芸の講座が受講者に好評だったのなら、常設講座にしてはどうか。 <p>III 広報等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者に地元の人はいない。定年退職時に実施している社会保険事業などで広報するなどしてはどうか。 ・クラフトパークは専門的で敷居が高いイメージがあると受け取られている。広報のメディア、表現等を検討されたい。

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	<p>新たな企画や受講申込方法の改善、広報活動の拡充等に努めた結果、昨年度に比べて施設全体の利用者は約1,900人増加した。</p> <p>また、平成26年3月に実施した受講者アンケートにおいて、授業の内容については93%、職員や指導員の対応については95%の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価しうる。</p>	A
③ 経費の縮減効果に対する評価	<p>平成22年度から、事業収入をすべて指定管理者の収入とし、事業費用をその収入で賄う「利用料金制」を導入することにより、大幅な管理経費の縮減が図られている。</p> <p>指定管理者制度を導入する以前の平成17年度と25年度の市費投入額を比べると、199,678千円から74,977千円と、124,701千円の削減となっている。</p> <p>また、平成25年度は指定管理期間内の計画的な削減により、平成24年度からさらに1,420千円削減している。</p>	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	<p>個人情報保護など、社会的責任・市の施策と合致している。</p>	B

④総合評価	<p>全国有数のクラフト科目の総合的学習施設として、充実した施設・設備による安心・安全かつ快適な利用環境と、専門的力量をもつ指導者による豊富な教室メニューを提供しながら、市費の縮減が計画どおり達成されており、おおむね事業計画どおりの効果が得られている。</p> <p>今後は、新規利用者のニーズに応え得る柔軟なサービスの提供に努め、効果的な施設運営を担うことが望まれる。</p>	B
-------	---	---

- 評価の基準
- S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
 - A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
 - B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
 - C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない